小さい者の一人が滅びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つのぶえ

TSUNOBUE

2021年2月20日　第432号

社会福祉法人
小羊学園
住所 〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町2709-12
電話 053-584-3337　FAX 053-585-8488
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人 稲松義人
印刷所 アド・アール株式会社

3月1日から7日は、春の火災予防運動週間　火の元には気をつけましょう！

この春、東日本大震災から10年になる。日本はその歴史をふり返ると大きな自然災害を何度も経験している。地殻の構造上の特性もあり、地震、火山、台風、大雨など、毎年、甚大な被害をもたらす。小羊学園でもしばらく前に停電を経験したが、電気、水道など、文字通りライフラインのダメージは生命の危機につながり、備えの大切さと即時の対応が大切だと痛感する。

日本人は、全体に及ぶような自然災害に対しては、思いやり、力を合わせようとするが、個人や一部の人たちの被災、困難には、時折、差別的な反応に同調し、中傷が拡散することに心が痛む。他者をおとしめることで、自分の不安を解消し、ストレスを発散しようとする反応ではないかと思う。

自然災害は時間がかかっても皆で乗り越えていかなければならない。しかし、人と人が分断されるなかで孤立し、心に深い傷を負う人に寄り添うことも社会に求められることである。ここに社会福祉の使命がある。

稲松義人

災害はいつやってきてもおかしくない
もしもに備えて　～防災訓練～

新型コロナ感染で不安な日々が続く中、地震・風水害等の自然災害や火災など生命にかかわる危機はいつ起こるのか分かりません。有事の際、迅速に対応できるよう日常的な訓練が大切です。今回は各事業所の日々の訓練の様子を報告します。

【三方原スクエア】

三方原スクエアでは、現在まで大きな災害や被害は受けてはいませんが、近年では大規模停電による3日間の断水などがありました。施設内においては毎月の避難訓練実施や、防災委員会を立ち上げ施設職員の防災意識の向上、啓蒙を図っています。

毎月行われる防災訓練においては、利用者の皆さんと職員が様々なパターンの災害状況を想定して避難訓練を実施しています。地震や火災はもとより、入所施設のため夜間想定の訓練もあります。また、年に2度ある総合防災訓練では一昨年初めて起震車体験を実施し、東日本大震災の時の震度7を体験しました。本当にとても立っていられない揺れで、その揺れが現実は2分続いたとお聞きし驚きを隠せませんでした。あの揺れの中で何ができるのか、どう皆さんを避難させれば良いのか非常に考えさせられました。

防災委員会では施設内の防災用品などの確認も行いますが、それ以上に各職員の防災意識の向上を図ることが大事な役目であると感じています。またBCP（事業継続計画）の推進を行っています。事業の損害を最小限に抑え、事業を継続させるマニュアルです。訓練や対策を今後更に進め、利用者の皆さんの生活を守れるよう、努めていきたいと思います。

【支援センターわかぎ】

三方原台地の東端に位置する支援センターわかぎは、浜松市作成の防災ハザードマップを確認すると幸いにも、津波浸水／液状化／河川氾濫／土砂流出などのリスクは極めて低いエリアにあります。建物も改築しており倒壊リスクは低いと考えますが、日常的な訓練と備品の備えには心がけています。

毎月の訓練は、火災想定・地震想定・風水害想定に分かれ夜間想定も含み様々な場面での災害発生を想定した訓練をしています。毎月の訓練に加えて、年2回の総合訓練があります。9月の地震想定では緊急対策会議の模擬演習・炊き出し・テント設営・防災備品確認を行います。このタイミングで備蓄食料の入替を行ったり、防災器具の設置場所を確認します。備蓄食料は福祉避難所の受入れ想定し、１００食×７日分をストックしています。11月の火災想定では、１１９番通報訓練・消火器／消火栓訓練等を実施します。火災の延焼を防ぐための初期消火は重

要で、職員個々が取り扱いを知っておく必要があります。利用者自身が身を守る行動が難しいので、職員の迅速な判断が重要です。そのため、防災委員会を設置して、施設の防災に係る諸課題を検討して改善策を練っています。

【つばさ静岡】

つばさ静岡では防災委員会が組織化されており、会議と訓練を毎月実施しています。多職種で形成された防災対策チームとして、専門性を生かし役割を分担する事が必要とされます。

大地震を想定した場合、津波の心配は無いと考えますが地盤の弱い地域とされ液状化が懸念されます。

人工呼吸器を装着している利用者もおり、災害時も電力の供給が必要となる為、非常用発電機の使用については細心の注意が必要になります。直近では1月に、夜間想定避難と発電機稼働の総合防災訓練を実施しました。

水害に弱い地域（巴川流域）にあり、浸水時に備え二階への避難を検討し移動手段・部屋割り・最低必要物品の選定にも取り組んでいます。

新型コロナウィルス感染防止対策事項を伝達する手段として、防災用メールを活用し職員へ随時配信しています。また、感染者発症時に策定したマニュアルは、他の災害への流用が期待出来ます。施設特有の課題である全介助者の車椅子・ストレッチャーでの避難・多様な食形態の防災食提供には力を注ぐ必要があります。次年度は、手狭になった防災倉庫等の環境整理、防災備蓄物品の再選定等に力を注ぎたいと思っています。

【小羊デイケアホーム】

小羊デイケアホームは周囲に福祉施設や学校に囲まれた傾斜地にある施設です。地震や大雨時の土砂崩れ等心配されますので、日頃より重点的に対策をすすめています。今後は三方原スクエアと共同した災害対策をすすめていくと同時に、他法人施設・高齢者施設と連携をすすめていくかが課題です。

また、大山町にある、放課後等デイサービス「ぱるしあ」の子どもたちも定期的に避難訓練を行っていますが、日頃の避難訓練をベースに少しずつ時間や場所・内容を変えて対策をすすめています。毎日の通所中、地震に遭遇した場合、どのような対応が安全なのか、通所経路のライフライン等も検討しています。

【マルカート】

マルカートは浜松福祉協働センターアンサンブル江之島の3階で事業運営しています。センターの趣旨に賛同する就労支援事業所ポコ・ア・ポコは2階を使用しており、防災訓練は年に2回合同で行っています。江之島町は遠州灘に面し、更にアンサンブルの建物は馬込川河口の隣に立っています。地震後の大津波は避けられない事を想定して、外や中階段を使って最上階の6階へ避難する訓練は常に危機感を持って行っています。実際に大津波が襲来した場合、アンサンブル内の利用者、職員は何らかの救助が来るまでの間、建物内に留まる事になるでしょう。その時に備え、職員会議などを通して避難訓練や防災備蓄の見直しを図っていますが、十分とは言えない状況です。

【オリーブの樹】

オリーブの樹では毎年2月と9月の年2回、わかなでは隔月で防災訓練を実施しています。地震や火災、外出中の災害が発生した場合等々、職員でいろんな想定を考えながら訓練を企画・実施しています。また昨年12月は、オリーブの樹・わかな合同で災害伝言ダイヤルの体験利用訓練を企画。保護者のみなさまにも参加・協力いただき、施設側が録音した伝言内容を保護者のみなさんに確認していただくという訓練も実施しました。通所事業所利用中に大きな災害が発生した場合、いったん避難した後には必ずお互いの安否確認は欠かせない事柄だと思います。いざという時のための備えとして、今後も災害伝言ダイヤル体験利用を継続していきたいと考えています。

【ぱぴるす】

ぱぴるすは三方ヶ原の地域でもあり地盤が固いエリアと聞いています。津波による被害も無く、液状化の影響も少ない地域となります。災害には「想定外があること」を常に意識しながら訓練計画を立てたり防災備品を整えたりしています。

日常的な防災訓練は、児童発達支援・放課後等デイサービスとも、月1回の訓練を実施しております。災害は地震だけでなく台風や火災なども含まれます。先日は、幼児の訓練で、大規模な地震が起きたことを想定し、ぱぴるすが使用できなくなったと想定し、近隣の瑞穂小学校まで徒歩で非難する訓練を実施したところです。子どもや職員が安全に避難できるように訓練を重ねていきたいと思います。

災害時に備え支援の輪は広がってます!!

静岡県災害派遣福祉チーム 静岡DCAT

静岡DCATは大規模災害が発生した際に、被災自治体の要請を受け派遣される福祉専門職チームです。災害発生後5日目からおおむね1ヶ月を期間として被災地の避難所等に入り、福祉トリアージ・避難所内の環境整備・要配慮者移送などの支援を行います。平成29年に組織化され、県内の高齢者・障害者・保育施設の介護福祉士・社会福祉士・保育士等の職員、約230名が登録し、小羊学園でも4名の職員が属しています。平成30年の西日本豪雨災害では、岡山県倉敷市で支援活動を行いました。

静岡県災害福祉広域支援ネットワーク 静岡DCAT

はままつna net

2018年の西日本豪雨を機会に、浜松市内の企業を中心に災害支援活動に取り組むネットワークが設立されました。当法人も情報支援として参加し、広島豪雨災害の視察や募金活動への参加等、微力ながら協力させていただいています。

この1年はコロナ禍で直接的な支援活動が難しくなりましたが、多種多様な企業・グループが知恵を出し合い、新しい支援の形を模索しています。また、市内での防災イベントを通じ災害に備えた地域、街づくりにも取り組んでいます。

浜松の企業が手をつなぐ はままつna net 災害支援ネットワーク

はままつna net
浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク

私たちのこともっと伝えたい！今回は オリーブの樹の魅力を伝えます

以前から障がいの重い子どもたちとご家族は、養護学校(現在の特別支援学校)の卒業後に通う場所がないと悩んでいました。地域の方から、若樹学園(現支援センターわかぎ)の園外作業であった工房わかぎに「自分たちの子供も通わせたい」という要望に添い、2006年４月にオリーブの樹を開設しました。同年１０月に障害者自立支援法の施行により「生活介護」の指定を受け、2014年には「就労継続支援Ｂ型」を開始し、多機能型事業所になりました。利用者１人１人に寄り添いながら「利用者に合わせた施設作り」を目指し、今年１５周年を迎えます。

上写真(生活介護)
メモ用紙･ポチ袋

右写真(就労継続支援B型)
わかぎでの清掃

オリーブの樹施設　外観

生活介護では、「パン」や「折り染めのメモ用紙/ポチ袋」などの授産製品の製造販売、リサイクル作業等の活動を実施しています。就労継続支援Ｂ型では、わかぎでの清掃や工場での部品加工、草刈りや内職などの仕事を請け負い日々頑張っています。

知っトクふくし 成年後見制度って?!

●成年後見制度とは?

認知症・知的障がいなど日常生活で困りごとや心配ごとがある人に、選任された後見人が本人に代わり財産を守ったり契約を代わりに行ってくれる等の公的な制度です。

●誰が担ってくれるの?

家庭裁判所の裁判官が選びます。身近な支援者の親族・専門的な講座を受けた市民後見人・福祉や法律の専門家などから選任されます。

●後見人がしてくれることは?

定期的な訪問や施設面会・通帳の保管や金銭の管理・必要な書類の作成や提出・施設や病院に入所時や入院などの契約やお手伝い・亡くなられた後の相談などです。

●お金はかかるの?

申立て時に約1万円程度。成年後見人への報酬は本人に支障のない範囲で家庭裁判所が決めます。

●どこに相談すればいいの?

お住まいの区役所、相談支援事業所、社会福祉協議会などが相談にのってくれます。

Point ！

法定後見制度にはお願いをする方の認知･判断能力などの状況によって後見内容に種類があります。

★成年後見人

判断能力がほとんどない状態で、日常生活を自分ではできない人

★保佐人

判断能力が著しく不十分な状態で、不動産売買など一定の重要な行為が困難な人

★補助人

判断能力が不十分な人。重要な取引は可能だが、一人では不安のある人

KOHITSUJI STAFF

リレートーク

Vol.12 中根 良之 さん

2009年入職
三方原スクエア成人部　主任

Q小羊学園を志した動機は？

大学の福祉施設実習で、知的障害者支援施設に行った時、直感的に楽しそうと思ったことがきっかけです。

Qこの仕事の嬉しいこと、悲しいことは？

利用者さんの想いが理解できて、相手も笑顔で応えてくれる時は嬉しさとやりがいを感じます。また日々の生活で真っ直ぐな感情表現などを見ていると、人間としてのあるべき姿とは…と考えさせられることがあります。

Qちょこっとプライベートを教えて！

休みの日は家に引きこもっていますが、外に出て動くことも好きです。

Q誰にリレーしましょうか？　また一言メッセージを！

ひまわりの鈴木美智子さんにバトンをつなぎます。コロナ禍ですが研修・研究委員会でよろしくお願いします。

春の火災予防運動

＝ 小羊学園と浜松市消防局の協力体制 ＝

3月1日～7日は、春の火災予防運動です。

小羊学園は浜松市消防局と協力して、火災予防啓発に取り組んでいます。

昨年の秋の火災予防運動期間中には、浜北消防署の精鋭メンバーが来訪され、はしご車による消火訓練を間近に見学でき、防災意識がさらに高まりました。

火災は自分たちで防ぐことができる災害です。この機会に身近な周辺箇所の点検をしていきましょう！

法人HPにも浜松市消防局バナーがあります。覗いてみてね！

コロナ禍での研修 ＝ZOOM新人研修＝

例年「仕事をする中での悩みと喜び」をテーマに、全3回で実施している小羊学園の新人研修。今年度は1月22日、各事業所のパソコンをオンラインでつなぎ、画面越しにようやく開催することができました。

オンライン研修では対面の研修と違い、相手の表情や感情が読み取りづらく、話し合いでの微妙な「間」がかみ合わず話し合いにくいことが多々あります。それでも、やれない・できないことを考えるより、今できる事を考える、ニューノーマル。今年の新人研修参加者6名と次こそは対面で研修できる日を願いつつ第2回の新人研修企画を考えていきます。

今年もタオル等のご支援いただきました

浜松ロータリークラブ 様

毎年ご支援くださりありがとうございます

あとがき

宮城県の新型コロナウイルスによる致死率0.67％、自宅での死亡0人。ニュース番組での報道内容。背景に東北大学病院の医師が県の医療調整本部長となり、保健所や行政・病院と医師が直接連携を図ることで入院調整がうまく働いているとのこと。あの大震災の時。関係機関との連携が機能せず、助かっていたはずの多くの命が亡くなってしまった経験が、その医師の教訓と語られていた。

連携が大切なのは福祉もしかり。毎日が緊張状態にある昨今。勇気づけられる報道でした。

（T）

小羊学園を支える会

2020年度 寄付金報告

12月～1月分　2,045,078円（138件）
累　計　7,724,046円（343件）

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座　００８００－８－１０７７８５
口座名義　社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行　〇八九店　当座預金０１０７７８５
口座名義　社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。
小羊学園を支える会事務局（鈴木）
小羊学園法人本部　☎０５３－５８４－３３３７